

久留米大学医学部(後期) 英語

2024年3月8日実施

1	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(d)	(a)	(b)	(d)	(b)	(c)	(a)	(d)				
2	1.	2.										
	(c)	(b)										
3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(f)	(a)	(c)	(c)	(d)	(e)	(b)	(d)	(e)	(b)	(c)	(a)
4	1.							2.				
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)					
	(a)	(c)	(b)	(d)	(a)	(b)	(c)	(a)	(e)	(g)		
5	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.					
	(c)	(a)	(b)	(a)	(a)	(b)	(d)					
6	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(a)	(h)	(e)	(d)	(c)	(e)	(d)	(a)				

<解説>

1

1. (d) Stress is one of the primary reasons of heat (strokes), which leads to deaths, said a notable physician at the press conference to raise awareness of the issue among office workers during the pandemic.

「ストレスは熱射病の主な原因の一つであり死に至ると、ある高名な医師が記者会見で語ったが、それはパンデミックの時期に会社員に向けて注意喚起するためである」

残りの選択肢の意味は、(a) heat damages 「熱損傷」、(b) heat transfers 「伝熱」、(c) heat waves 「熱波」である。また stroke には「脳卒中」という意味があることは、医学系英単語として必須の知識である。

2. (a) Physiology is a field of medical science, and it (deals with) the study of how cells, tissues, and living organisms function in the human body.

「生理学は医学の一分野であり、細胞や組織や生体構造が人体でどのように機能するかについての研究を扱う」

残りの選択肢の意味は、(b) parts with ~ 「~を手放す、~と別れる」、(c) adjoins 「~に隣接する」、(d) adjust to ~ 「~に順応する」である。

3. (b) Abolishing drug-related behaviors such as needle sharing is one of the most effective means to reduce the risk of exposure to HIV/AIDS and other (**infectious**) diseases.
 「注射針の使いまわしのような薬物に関係する行為をやめることは、HIV/AIDS や他の感染症にかかるリスクを減らす最も効果的な手段の一つである」
 残りの選択肢の意味は、(a) zealous 「熱心な」、(c) impeachable 「弾劾されるべき」、(d) interminable 「うんざりするほど長い」である。
4. (d) Many major corporations are now grappling with the idea of whether to formally move to a four-day work week, or to revert back to a five-day work week when (**productivity**) seems to reach higher levels.
 「生産性がより高いレベルに到達しているように思われる昨今、大企業の多くが週4日労働に正式に移行するか、それとも週5日労働に戻るか、という考えにぶつかっている」
 残りの選択肢の意味は、(a) destruction 「破壊」、(b) complexity 「複雑さ」、(c) justice 「正義」である。英文中の表現としては、<grapple with ~> 「～に取り組む、～と格闘する」、<revert back to ~> 「～に退行する」も知っておくとよいだろう。
5. (b) Researchers at an American university discovered a possible benefit of a (**molecule**) in green tea, which would be effective for some specific proteins in the brain.
 「アメリカの大学の研究者が、緑茶の分子がもたらしうる利点を発見した。それは脳内の特定のタンパク質に効果があるというのだ」
 残りの選択肢の意味は、(a) malice 「悪意」、(c) toxin 「毒素」、(d) venom 「毒」である。
6. (c) Some heart-related websites suggest caffeine intake for improving sports performance. Thus, it was rather shocking to learn that a trainer suddenly died after a caffeine (**overdose**) that was roughly equivalent to 200 cups of coffee.
 「心臓関連のウェブサイトの中には、スポーツのパフォーマンスを改善するためにカフェインの摂取を提唱するものもある。だからこそ、あるトレーナーがコーヒー約200杯分に相当するカフェインの過剰摂取によって突然亡くなったということを知るのはかなり衝撃的だった」
 残りの選択肢の意味は、(a) discharge 「放電、退院」、(b) malpractice 「医療過誤」、(d) abstention 「棄権」である。
7. (a) The death of a child in the city is suspected as being a rare case of brain-eating amoeba. According to one newspaper, the child might have (**contracted**) the infection in a warm fresh water environment.
 「その町で子どもが一人死んだのは、脳食性アメーバによる稀な症例であると思われる。ある新聞によると、その子どもは生ぬるい水がある環境で感染症に罹患したのかもしれないということだった」
 残りの選択肢の意味は、(b) consumed 「消費した」、(c) construed 「解釈した」、(d) conjured 「思い起こさせた」である。
8. (d) Very few countries have been recording cases of polio in recent years. Global medical experts have been working hard to (**eradicate**) the disease with uncompromising determination.
 「近年ポリオの症例を記録している国はほとんどない。世界中の医療の専門家が、断固とした決意でこの病気を根絶しようと努力し続けている」
 残りの選択肢の意味は、(a) proliferate 「増殖する」、(b) intervene 「介入する」、(c) dilute 「希釈する」である。

2

1. 本文の主題は「大腸がん患者の若年化とその対応策について」である。(a)の「この傾向について明確な説明はないが、3月に *Science* 誌に発表された新しい論文では、環境的要因や遺伝的要因などを含め、いくつかの考えられる理由が示されている」という内容は、第1文に書かれているような「大腸がんは高齢者が罹患すると思われていることが多いが、米国がん協会によって発表された最近の研究によると、1995年には10人に1人であったのに対し、現在では5人に1人が55歳未満である」という内容に続くものと考えられる。(a)は削除せずにおくのがよいだろう。(b)の意味は「がんを疑っていない人たちの検診率の低さや誤診も一役買っている可能性が高い」となる。これも、第1文の比較的若い人たちの大腸がんの罹患率が増えていることと考えられる理由について指摘したものであり、不要であるとは考えにくい。ところが、第1段落最終文にある(c)の意味は「十分早期に発見されれば生存率は90%である」であるのだが、その直前の一文とのつながりがよくない。というのも、直前の文でハーヴァード大学医学部教授の発言が書かれており、その意味が『私たちは、大腸がんを高齢者だけの病気であると考えべきではない段階にきている』であるからである。大腸がんが若年層にもみられるという事実とそれについての専門家の準備的な考察しか述べられていないこの段階で、大腸がんの生存率の話を挿入するのは、唐突である。これに関連して(d)も検討しよう。(d)を含む第2段落では第1文で、内視鏡検査が大腸がんの予防と早期発見のためのすぐれた道具であるのだから、進行してしまった大腸がんが増えているということは憂慮すべき事態だという趣旨が書かれている。(d)は「若年層での罹患率が上昇していることから、合衆国予防医療専門委員会は2021年5月、50歳ではなく45歳から検診を開始するよう推奨内容を変更した」という内容で、上述の第2段落第1文に続けるのに適する。したがって、(c)が不要文である。

<全訳> 大腸がんは高齢者が罹患すると思われていることが多いが、米国がん協会によって発表された最近の研究によると、1995年には10人に1人であったのに対し、現在では5人に1人が55歳未満である。(a)この傾向について明確な説明はないが、3月に *Science* 誌に発表された新しい論文では、環境的要因や遺伝的要因などを含め、いくつかの考えられる理由が示されている。(b)がんを疑っていない人たちの検診率の低さや誤診も一役買っている可能性が高い。ハーヴァード大学医学部教授でマサチューセッツ総合病院消化器内科副部長のアンドリュー・チャン氏は、「私たちは、大腸がんを高齢者だけの病気であると考えべきではない段階にきている」と語った。

大腸内視鏡検査は「前がん病変を実際に検出して取り除くことができるスクリーニングという点では、大腸がんの予防と早期発見のためのすぐれたツール」であるため、この調査結果は特に懸念すべきものであると筆頭著者である、米国がん協会のがんサーベイランス研究の上級職のレベッカ・シーゲル氏が語った。[ここに本来(c)の1文が入る](d)若年層での罹患率が上昇していることから、合衆国予防医療専門委員会は2021年5月、50歳ではなく45歳から検診を開始するよう推奨内容を変更した。しかし、危険因子を持つ人はもっとずっと早く始める必要があるかもしれないとシーゲル氏は語った。彼女は、大腸がんの3分の1近くは家族歴が関係していると指摘した。

(削除文)(c) 十分早期に発見されれば生存率は90%である。

2. 本文の主題は「NASAのジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡を使った木星の観測について」である。(a)と(b)が含まれる第2段落では、ジェイムズ・ウェッブの宇宙望遠鏡を用いて観測した結果が述べられている。(a)は「合成画像は天文台の近赤外線カメラ(NIRCam)で撮影され、赤外光は人間の目には見えないため、人工的に着色されている」とある。それに続けて、(b)が置かれているがその意味は「約一週間前に、ペーターは彼女の研究チームが木星の二つの衛星を観測し、そこに火山活動の兆候を発見したと報告した」である。どちらも木星の観測に関連する情報ではあるが、連続しないように見える。そこで(b)の直後の一文を見る。その一文の意味は「木星の北の極と南の極を覆うオーロラは赤く、地球よりも大きな嵐である大赤斑は白くみえる」である。この色に関する情報は、近赤外線カメラで撮影しその画像が人工的に着色されたことと対応していると考えられるため、(a)を残して、(b)を削除する。(c)は“the region”が直前の1文の“a region of space called the second Lagrange Point”を指していると考えられるためそのまま残すのがよい。最後の(d)は、前の文とのつながりがあまりよくないようにも見えるが、この文章全体がジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡を使った木星の観測をテーマとしていることと、(d)の

内容がそのジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡は各国の宇宙開発機関の協働作業の結果であることを述べていることとを考えると、この文章の末尾に置いて結語とするのに問題はない。よって(b)が不要文である。

<全訳> NASA のジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が、2つの小さな衛星、希薄な環、そして北極と南極のオーロラを映し出した木星の素晴らしい画像を撮影した。カリフォルニア大学バークレー校の惑星天文学者、イムケ・ド・ペーターはこう言う。「木星についての詳細と木星の環や小さな衛星、さらには銀河までも、一つの画像で見ることができるのは、本当に驚くべきことです」。

ド・ペーターは、パリ天文台のティエリー・フーシェとともに、太陽系最大の惑星である木星の観測を指揮した。合成画像は天文台の近赤外線カメラ (NIRCam) で撮影され、赤外光は人間の目には見えないため、人工的に着色されている。木星の北極と南極を覆うオーロラは赤く、地球よりも大きな嵐である大赤斑は白くみえる。

木星の希薄な環とその衛星アマルテアとアドラステアも写っている。2021年12月にアリアン5ロケットでフランス領ギアナから打ち上げられたウェッブは、地球から100万マイル(160万km)離れた、第2ラグランジュ点と呼ばれる宇宙空間の領域で太陽を周回している。探査機がこの領域に到達するまでにはほぼ1ヶ月を要し、この領域にあると地球の背後の太陽側に固定された位置にとどまり、宇宙をはっきりと見渡すことができる。ウェッブ望遠鏡は、合衆国の宇宙機関 NASA、欧州宇宙機関、カナダ宇宙機関の国際共同プロジェクトであり、一万人以上が参加した。

(削除文)(b) 約一週間前に、ペーターは彼女の研究チームが木星の二つの衛星を観測し、そこに火山活動の兆候を発見したと報告した。

3

(1) (f) (b) (a) (e) (d) (c)

It found that **(attending live sporting events results in higher scores of two major measurements of subjective wellbeing: life satisfaction and a sense of “life being worthwhile”, as)** well as lower levels of loneliness.

「スポーツイベントを見に行くことで孤独感を和らげるだけでなく、人生の満足度と『生きがい』を感じる度合いという主観的幸福度の二大測定項目のスコアが高くなるということがわかった」

第1段落に、“attending live sporting events” という表現があり、またこの文の動詞は results と考えられるので、骨格の attending live sporting events results in higher ~ が出来上がる。また <A as well as B> という表現を想定すると、文末が sense of “life being worthwhile”, as well as lower levels of loneliness. となることが予想される。残る a, d, e の組み合わせは、“two major measurements of subjective wellbeing” が、具体的には “life satisfaction” と “a sense of life being worthwhile” を指すと考えられるため、a→e→d つまり、scores of two major measurements of subjective wellbeing: life satisfaction and a sense of ~ と決まる。

(2) (c) (a) (d) (b) (f) (e)

Many **(initiatives currently promote the health benefits of physical participation in sport, but the researchers believe that watching live sporting events can also offer an accessible and effective public health tool for improving)** wellbeing and reducing loneliness.

「現在、スポーツに実際に参加することのもたらす健康上の利益を促進する多くの新たな試みが行われているが、スポーツイベントを見ることもまた、幸福度向上と孤独感解消のための身近で効果的な公衆衛生ツールを提供してくれると、研究者たちは考えている」

この英文には3つ動詞要素 offer、promote、believe があるが、そのうち2つは <SV, but SV.> を構成するのに用いると想定し、残る1つの動詞は believe の目的語である that 節内の V となると想定する。文頭の Many に続く複数形の名詞は、(a) の “health benefits” と “initiatives” の2通り考えられるが、Many health benefits of physical participation in sport, but ~ とつなげた場合、上の想定に矛盾するため、文頭は、Many initiatives currently promote the ~ と決まる。また(1)と同様、“watching live sporting events” というつながりに注目し、最初的前提である <SV, but SV.> を考慮に入れると、a→d→b つまり、health benefits of physical participation in sport, but the researchers believe that watching live sporting events can also

offer~となる。さらに、文末の and は、“improving~”と空所に続く“reducing~”を並列していると考えられるため、最後は、eの public health tool for improving だとわかる。残る fの an accessible and effective は、複数形の名詞の前に置くことはできないため、aではなく eの前に置くしかない。

- (3) (b) (f) (d) (c) (a) (e)

Previous research (**has focused** on specific sports **or small population** samples, such as college students in **the United States**).

「以前の研究では、特定のスポーツや、米国の大学生のような少数の母集団サンプルに焦点が当てられてきた」

<focus on ~> 「~に焦点を当てる」と <A such as B> 「例えば B のような A」、また “in the United States” を想定することで、ほぼ出来上がる。最後に残るのは、dの or small population をどこに置くかということだが、“small population samples” 「少数の母集団サンプル」の具体例が “college students in the United States” 「米国の大学生」だと気づけば、“specific sports” と “small population samples, such as college students in the United States” を or がつないでいることがわかる。

- (4) (b) (e) (c) (f) (d) (a)

The authors (**stated that they do** know that watching **live sport of all types provides** many opportunities for social interaction and that it helps to forge group identity **and belonging, which in turn mitigates**) loneliness and boosts levels of wellbeing.

「著者らによると、あらゆる種類のスポーツ観戦は人との関わりの機会を数多くもたらし、集団アイデンティティや帰属意識を形成するのに役立つが、その結果孤独感が和らぎ幸福度が向上する」

state that S’V’ and that S’V’. という構造を想定する。また、“watching live sport” とつながり、provides の目的語となる名詞要素は、“many opportunities” になることが想定されるため、e→c→f つまり、know that watching live sport of all types provides many opportunities for social interaction と決まる。

なお文末の and は “mitigates ~” と、空所に続く “boosts ~” をつないでいると考え、最初が b、最後が a と決まり、その間に e→c→f と d が前後して並ぶことがわかる。b の最後の do を強調の助動詞だと考えると、b→e→c→f と矛盾なくつながり、a の冒頭の and は “group identity” と belonging をつないでいると考えることで、d→a も矛盾がないことがわかる。

4

1.

- (1) (a) Constant travelling, **cramped** transport, small temporary housing, forced training and daily performances place undue stress on wild animals.

「絶えず移動し、狭い小屋に閉じ込められて輸送され、強制的に訓練や毎日演技をさせられることは、野生動物には受けなくてよいはずのストレスを加えている」

stress という単語から野生動物にとってマイナスの内容であると推測できる。選択肢(c) comfortable 「快適な」、(d) affordable 「余裕がある」はプラスの意味である。(b) spacious 「広々とした」は輸送の際にはプラスの意味であると解釈できる。よって(a) cramped 「手狭な、狭苦しい」が正解。

- (2) (c) Whether captive or not, their basic living needs **remain** the same.

「飼育下であろうとなかろうと、それらの動物が生きていくための基本的必要条件は**変わらない**」

第2段落第3文で、野生動物には自分自身の居住のための十分な居住空間を持っているという趣旨の内容が書かれている。ということは、captive の状態であろうとなかろうと、基本的なニーズは変わらない。よって(c) remain 「~のままである」が正解。残りの選択肢の意味は、(a) condition 「条件づける」、(b) compel 「無理やり~させる」、(d) underestimate 「過少評価する」である。

- (3) (b) During the act, the loud noises and crowds of people are often **upsetting** or frightening for them.

「演技の間、うるさい音や多くの観衆が、それらの動物には**動揺させたり**や怖がらせたりするものとなることが多い」

空所(3)が or で frightening と連結されていることと、them が “wild animals” を指すことがポイント。第 3 段落第 1 文にあるように、動物たちは 10～15 分だけ閉じ込められている檻から出て演技をするのである。普段は第 2 文にあるような騒音や多数の観客にさらされているわけではない。このように考えると (b) upsetting 「動揺させる、悩ます」が正解であるとわかるであろう。残りの選択肢の意味は、(a) encouraging 「勇気づける」、(c) rejoicing 「喜ばせる」、(d) complaining 「不平を言う」である。

- (4) (d) **Separation** from their families and social groups leads to loneliness, depression, and anxiety.

「家族や仲間から引き離されることが孤独感、気分の落ち込み、不安をもたらす」

<separation from ~> で「～から離れること、引き離されること」という意味である。空所に続く前置詞 from に注目すると separation が最も妥当であるとわかる。意味を考えても、家族や仲間と離れ離れになることが原因で孤独、気分の落ち込み、不安というマイナスの結果がもたらされると考えれば意味が通る。残りの選択肢の意味は、(a) togetherness 「連帯感」、(b) commitment 「献身、傾倒、関与」、(c) union 「同盟」である。

- (5) (a) Circus animals are often **subjected** to physical abuse, such as beatings, electric shocks, and the use of bullhooks, which lead to all manner of physical injuries, as well as fear, anxiety, and aggression.

「サーカスの動物たちは、殴打、電気ショック、ブルフックの使用といった身体的虐待を受けることが多い。そのことは、恐怖、不安、敵対心だけではなく、あらゆる種類の身体的損傷をもたらす」

<A is subjected to B> で「A は B を避けられない、A は B にさらされる」という意味である。空所に入り得る単語としたは (a) subjected しかない。(b) の object を使うとすれば <object to ~> で「～に反対する」という意味である。

- (6) (b) This **led** the Welsh and English government to then ban the use of wild animals in travelling circuses — whether used for performance or in exhibitions—in 2020.

「このことは、ウェールズおよびイングランド政府が 2020 年に、演技のためであろうと、展示のためであろうと、巡回サーカスで野生動物を使用するのを禁じる原因となった」

空所(6)の前の This は前文(第 5 段落第 1 文)の内容を指し、その 1 文では、巡回サーカス団の野生動物の生活は望ましものではない、という趣旨の内容が書かれている。このためウェールズ政府やイングランド政府は禁止に踏み切った、と考えれば (b) led が正解であるとわかる。<S lead O to do ~> で「S は O が～する原因となる、S のために O は～するようになる」という意味である。残りの選択肢の意味は、(a) happened 「生じる」、(c) constrained 「～を…を強いる」、(d) deterred 「～を阻止する」である。

- (7) (c) Some countries — like the United States, France, China, Japan, Russia, New Zealand and so on — have yet to **draw up** nationwide legislation.

「アメリカ、フランス、中国、日本、ロシア、ニュージーランドなど、まだ国全体で運用される法律を作成していない国もある」

第 5 段落では、ウェールズやイングランドといった国々がサーカスで動物を用いることを禁じる法律を制定したことが述べられており、それに対して「まだそうしていない」国もあるという内容が続くと予想できる。それを裏付けるのが、however でつながる第 6 段落第 2 文以降であり、「しかし、いくつかの都市は、自分たちの手で問題を解決することに決めた。横浜は大都市としては初めて、サーカスに動物を使用することを禁止し、その後大阪、神戸、京都も後に続いた」と述べられている。(c) draw up 「(契約書など)を作成する」という意味で、<have yet to do ~> は「まだ～していない」という意味である。残りの選択肢の意味は (a) post to ~ 「～に転記する」、(b) pick on ~ 「～をいじめる」、(d) pull down ~ 「～を引き下ろす」である。

2. 本文中の内容と適合するものを下記の(a) ~ (h)から3つ選び、その記号をマークせよ。

(a) Circus animals cannot behave, socialize, or get enough exercise as they would in the wild.

「サーカスの動物は、野生環境であればとれるような行動、触れ合い、十分な運動をとることができない」

第4段落第2文が根拠となる。その1文の意味は、「これらの動物たちは、野生環境であればとれるような行動、触れ合い、十分な運動をとることができない」である。「これらの動物」が指す内容は同段落第1文で示された「見せ物として使われる野生動物」のことであり、この選択肢の内容は正しいと判断できる。

(e) Circus animals often have to endure cruel and inhumane treatment.

「サーカスの動物たちは、しばしば残酷で非人道的な扱いに耐えなければならない」

今回の英文全体を通じて説明されていることが根拠となる。特に第1段落が根拠となる。それらの意味は「照明がつけられ、音楽が流れているとき、サーカスの動物たちは調教師や観客のために喜んでパフォーマンスをしているように見える。しかし、これは単なる錯覚であり、策略である。なぜなら、野生動物がサーカスの生活環境に喜んで耐えることはめったにないからだ」である。サーカスの生活環境が「残酷で非人道的」であることについては、第2, 3段落で詳しく述べられている。よって、この選択肢の内容は正しいと判断できる。

(g) People can play a role in the prevention of animal abuse by writing to the local government.

「動物虐待を防止するために、人々は地方自治体に手紙を書くことで役割を果たすことができる」

最終段落第2文が根拠となる。その1文の意味は「一個人として、あるいは一世帯として、あなたはあなたの住む都道府県の知事に手紙を書く決断を下すことができる」である。“governor”に手紙を書くというのは、地方自治体に対して、横浜市に倣って野生動物をサーカスで用いることを禁じる方針を取るように求めることを意味するので、この選択肢の内容は正しいと判断できる。

(b) については、空所(2)の解答と連動するが、「サーカスの動物が生きていくための基本的な必要条件是、飼育下であろうとなかろうと、同じままではない」という記述が第2段落最終文に述べられた「飼育下であろうとなかろうと、それらの動物が生きていくための基本的な必要条件是変わらない」と一致しない。

(c) については、「各世帯は、動物を大切に扱っていると主張するサーカスだけを支援すべきである」という記述が、最終段落最終文で述べられた「最後に、人間のアクロバット、ピエロ、ダンサー、マジシャン、曲芸師、ジャグラーなどを勢ぞろいさせて、観客を興奮させる、動物を用いない人道的なサーカスを資金面で支援するチケットを購入することができる」と一致しない。

(d) については、空所(7)の解答と連動するが、「すべての国がサーカスでの野生動物の使用を禁止している」という記述が、第6段落第1文で述べられた「アメリカ、フランス、中国、日本、ロシア、ニュージーランドなど、まだ国全体で運用される法律を作成していない国もある」と一致しない。

(f) については、「ウェールズでの調査では、サーカス動物の扱いは適切であることが明らかになった」という記述が、第5段落第1文で述べられた「ウェールズ政府が委託し、2019年に発表された最近の報告書の要約では、『巡回サーカスにおける野生動物の生活は、『良い生活』にも『生きるに値する生活』にも該当しないようだ』と述べられている」と一致しない。

(h) については、「サーカスの動物たちは、調教師や観客の家族のために喜んでパフォーマンスをする」という記述が、第1段落で述べられた「照明がつけられ、音楽が流れているとき、サーカスの動物たちは調教師や観客のために喜んでパフォーマンスをしているように見える。しかし、これは単なる錯覚であり、策略である。なぜなら、野生動物がサーカスの生活環境に喜んで耐えることはめったにないからだ」と一致しない。

5

1. (c) arctic explorer, author, and anthropologist

問題文は、「ローレンツ・ピーター・エルフレッド・フロイヘンの主な職業は何か」である。

- (a) 「ホッキョクグマを狩る猟師, 冒険家, そして講師」
- (b) 「俳優, ファッションモデル, そしてイラストレーター」
- (c) 「北極探検家, 作家, そして人類学者」
- (d) 「編集長, 抵抗運動の闘士, そしてクイズ番組の出演者」

第2段落第1文が根拠となる。その意味は「その男性は、デンマーク人で、名をローレンツ・ピーター・エルフレッド・フロイヘンという北極探検家, 作家, 人類学者である」であり、(c) が正解とわかる。

2. (a) They established a trading post called Thule.

問題文は、「フロイヘンとその友人クヌート・ラスムッセンはどのような形でグリーンランドに寄与したか」である。

- (a) 「彼らはトゥーレと呼ばれる交易所を開設した」
- (b) 「彼らは新たな狩猟技術をイヌイットに紹介した」
- (c) 「彼らは北極圏付近に探検隊用の野営地を建設した」
- (d) 「彼らはイヌイットの言語と文化を学ぶ大学を創設した」

まず第4段落第1文が根拠となる。その意味は「その後1910年に、彼ら二人はグリーンランドに交易所を開設し、トゥーレと名付けた」である。ただし、この交易所が「グリーンランドに寄与した」か否か判断する根拠は本文中に存在しないので、これだけで正解とは断定できない。他に彼らがグリーンランドで行ったことについては、同段落第3文に、「そこで彼は、学校や病院の建設、食生活の改善、自決意識の植え付けなど、地元住民の生活向上に努めた」と書かれているが、(b), (c), (d) の内容はどれも含まれない。したがって、消去法により、正解は (a) とせざるをえない。

3. (b) He crafted a knife from frozen excrement.

問題文は、「フロイヘンは、積もった雪に捕らわれた状態からどのように脱出したか」である。

- (a) 「彼は金属製の道具を使って穴を掘り、窮地を脱した」
- (b) 「彼は凍った糞便からナイフを作った」
- (c) 「彼はソリを引いていたイヌたちに助けられた」
- (d) 「彼は雪が自然に溶けるのを待った」

第4段落第6文に、「手元に金属製の道具は何一つなかったので、大便から小さな短刀をこしらえ、穴を掘って脱出したと彼は述べている」とある。これにより、(b) が正解とわかる。

4. (a) the death of his Inuit wife

問題文は、「フロイヘンがデンマークに戻るきっかけとなった出来事は何か」である。

- (a) 「イヌイットである彼の妻の死亡」
- (b) 「第二次世界大戦の勃発」
- (c) 「彼の遺作の完成」
- (d) 「フランスにおけるナチスからの彼の逃亡」

第5段落第1・2文に、「数年後、メクパルクはスペイン風邪で亡くなってしまった。悲しみに打ちひしがれ、フロイヘンはデンマークに帰国した」とあり、「メクパルク」という人物の死こそがデンマークに帰国するきっかけだと判断できる。では、この「メクパルク」とはいかなる人物かといえ、第4段落第2文に、「フロイヘンは、ナヴァラナ・メクパルクという名の地元のイヌイットの女性と結婚した」とあることから、フロイヘンの最初の妻であるイヌイットの女性のことを指しており、(a) が正解とわかる。

5. (a) **resistance fighter in Denmark**

問題文は、「フロイヘンが第二次世界大戦中に引き受けた役割はどれか」である。

- (a) 「デンマークでの抵抗運動の闘士」
- (b) 「デンマークの特殊な情報将校」
- (c) 「デンマークのクイズ番組への出場者」
- (d) 「デンマークから連合国に派遣された使節」

第 6 段落第 1 文に、「第二次世界大戦が勃発すると、フロイヘンは直ちにデンマークの抵抗運動に加わり、難民を匿い、連合軍を支援し、ナチスの作戦を妨害した」とあることから、(a) が正解とわかる。

6. (b) **He won the highest prize of \$64,000.**

問題文は、「フロイヘンが *The \$64,000 Question* というクイズ番組で成し遂げた偉業とは何か」である。

- (a) 「彼は問題の答えを言い当てたに過ぎない」
- (b) 「彼は最高賞金である 64,000 ドルを勝ち取った」
- (c) 「彼はそのクイズ番組のレギュラー出演者になった」
- (d) 「彼は賞金を全額寄付した」

第 8 段落第 2 文に、「航海にまつわる普通の人なら聞いたこともないような事柄についての問題に正解し、最高賞金 64,000 ドルを手にして立ち去ったのである。これは現在の 523,454 ドルに相当する」とある。このことから、(b) が正解とわかる。

7. (d) **decommission a submarine found on the coast of Greenland**

問題文は、「フロイヘンの人道主義は、彼の_____への努力には表れていない」である。

(d)の選択肢の意味は「グリーンランド沿岸で発見された潜水艦を退役させる」であるが、この内容は本文で全く述べられていない。

(a) 「グリーンランドの地域住民の生活を向上させる」については、第 4 段落第 3 文の内容に一致する。その 1 文の意味は「そこで彼は、学校や病院の建設、食生活の改善、自決意識の植え付けなど、地元住民の生活向上に努めた」である。

(b) 「ファシズムと反ユダヤ主義に反対する」については、第 5 段落第 4 文の内容に一致する。その 1 文の意味は「彼はまた、デンマークの社会民主主義運動にも積極的に参加するようになり、ファシズムや反ユダヤ主義に反対する政治新聞『ポリティケン』に定期的に寄稿した」である。

(c) 「第二次世界大戦中に難民を匿い、連合軍を支援する」については、第 6 段落第 1 文に一致する。その 1 文の意味は「第二次世界大戦が勃発すると、フロイヘンは直ちにデンマークの抵抗運動に加わり、難民を匿い、連合軍を支援し、ナチスの作戦を妨害した」である。

6

1. (a) **For medical professionals and healthcare providers, (hand hygiene is vital under many work conditions).**

「医療従事者や医療提供者にとって、手指消毒は多くの作業条件下で必要不可欠である」

第一項 (ア) にある **hand hygiene** 「手指衛生、手指消毒」に続く第二項には、動詞 **is** で始まる (ア) を選ぶ。第三項は、第二項の最後にある形容詞 **many** に続く名詞 **work** で始まる (ア) を選ぶ。したがって (a) (ア) → (ア) → (ア) が正解。

2. (h) **We thought our schedule was going to be just fine, (but it's turned out that we had the dates completely wrong)!**

「スケジュールは問題ないだろうと我々は思っていたが、日程を完全に間違えていることが判明したんだ!」

第一項 (ア) (イ) にある **it** は形式主語で、その内容は第二項以下の **that** 節である。よって第二項は <It turns out that ~> 「~ということが判明する」となる (イ) を選ぶ。第二項以下にある **that** 節内の “we had the date” に続く第三項は、副詞及び形容詞 “completely wrong” である (イ) 選ぶ。第一項は、前にある「スケジュールは問題ないだろうと我々は思っていた」という内容と第二項以下の「日程を完全に間違えている」という意味内容から、逆接を表す接続詞 **but** で始まる (イ) を選ぶ。したがって (h) (イ)

→ (イ) → (イ) が正解。

3. (e) There is practically no public transport to the venue, **(so we will have to either share a taxi or go on foot)**.
 「会場までの公共交通機関はほぼ全く無いので、タクシーに相乗りするか徒歩で移動しなければならない」
 第一項 (ア) にある <~ need sharing> は「～がシェアされる」という受動内容を表す表現で、“a taxi” がその主語とならねばならない。よって第一項は it が主語となっている (ア) は不適切なので、(イ) を選ぶ。第一項にある “we will have to either share” に続く第二項は、動詞 share の目的語となる名詞 “a taxi” で始まる (ア) を選ぶ。第二項にある接続詞 or に続く第三項は第一項 either の後にある share と並列される動詞が続くが、「徒歩で」は <on foot> なので (ア) を選ぶ。したがって (e) (イ) → (ア) → (ア) が正解。
4. (d) Hang on a second. It says no photography inside, **(so we might want to put these cameras in the lockers as well)**.
 「ちょっと待って。中は撮影禁止と書いてあるから、このカメラもロッカーに入れた方がいいかもしれない」
 第一項は、前に、(カンマ) があり関係代名詞 that は続くことができず (イ) は不適切なので、順接を表す接続詞 so から始まる (ア) を選ぶ。第一項にある “might want to” に続く第二項は、動詞が続くが「～を…にしまう」は <put ~ in ...> なので (イ) を選ぶ。第三項は第二項の最後にある冠詞 the に続く名詞 lockers で始まる (イ) を選ぶ。したがって (d) (ア) → (イ) → (イ) が正解。
5. (e) I kind of like the ambience of the restaurant, **(but the problem is it almost always takes forever for the orders to arrive)**.
 「このレストランの雰囲気はちょっと好きなんだけど、難点は注文したものがでてくるのに、ほとんどいつもすごい時間がかかることだ」
 第一項は、where で始まる関係副詞節内が不完全である (イ) は不適切なので (ア) を選ぶ。第一項にある “it almost” につづく第二項は almost が修飾する always で始まる (イ) を選ぶ。<it takes 時間 for ... to do ~> で「…が～するのに時間がかかる」。第三項は、第二項の最後にある前置詞 for に続く名詞 “the orders” で始まる (ア) を選ぶ。arrive は自動詞なので、目的語がおかれている (イ) は不適切。したがって (c) (ア) → (イ) → (ア) が正解。
6. (e) I really should have brought something **(to write with, but do you happen to have a pen that I could borrow) for the day?**
 「本当に何か書くものを持ってくればよかったんだけど、一日貸してくれるペンを持ってたりしない？」
 第一項は、前の名詞 something に続く形容詞用法の to 不定詞で始まる (イ) を選ぶ。“for which” で始まる関係代名詞節内が不完全であり、第二項以下にある一般動詞 happen を含む文を疑問文にするのに be 動詞を用いており (ア) は不適切。第二項は、第一項の最後にある “do you” で始まる疑問文に続く動詞の原形 happen で始まる (ア) を選ぶ。第三項は、関係代名詞節内の主語がペンを持って来なかった I なので (ア) を選ぶ。borrow 「～を借りる」。したがって (e) (イ) → (ア) → (ア) が正解。
7. (d) The latest version of my brother’s favorite game is just **(coming out, and apparently, he was too excited to go to sleep)** last night.
 「弟の大好きなゲームの最新版が出たばかりで、どうやら昨晩は興奮して眠れなかったようだ」
 第一項は、(イ) の最後にある前置詞 “due to” の目的語となる名詞が、第二項になく不適切なので、(ア) を選ぶ。<come out> 「発売される」。第二項は、第一項の最後にある接続詞 and に続けるには、形容詞と接続詞が続いており、また “he was too exciting” とされている (ア) は不適切なので (イ) を選ぶ。excite 「～を興奮させる」。第三項は、第二項の最後にある形容詞 excited を修飾する副詞用法の to 不定詞で始まる (イ) を選ぶ。<too ... to do ~> 「とても…なので～できない」。したがって (d) (ア) → (イ) → (イ) が正解。

8. (a) My teacher kept telling us to imagine what our lives (would be like ten years later, but I never understood what it would be) good for.

「私の先生は、10年後の自分の人生を想像しなさいと言いつつ、それが何の役に立つのか私には理解できなかった」

第一項は、(ア)を選ぶ。<what ~ will be like> 「~はどのようなものになるか、未来の~」。第二項は (ア)を選ぶ。第一項までに否定表現がなく、「~もまたない」という意味の接続詞 nor で始まる (イ) は不適切。第三項は (ア)を選ぶ。“what it would be good for” 「それが何にとって良いのか、それが何の役に立つのか」。it の内容は “to imagine what our lives would be like ten years later”。したがって (a) (ア) → (ア) → (ア) が正解。

講評

- 1 [語彙] (やや難) 医学用語への慣れが、出来を大きく左右する。判断に迷う設問も含まれる。
- 2 [不要文排除] (標準) 旧センター試験大問 3A と同形式。前後の文脈をきちんと追っていくと不要な選択肢が何かを特定できるだろう。
- 3 [文中語句整序] (標準) 「スポーツイベントを見に行くことのもたらす効果」に関する英文。例年よりも完成させる英文が長いものの、落ち着いて取り組むことで正解にたどり着くことができる。
- 4 [長文総合] (標準) 「サーカスで野生動物を利用することの問題点」に関する英文。空所補充問題は答えを絞り込みやすく、内容一致問題も判断に迷うところはない。
- 5 [長文内容一致] (やや易) 「探検家ピーター・フロイヘンの生涯」に関する英文。一部難単語の含まれる設問もあるが、内容は追いややすく、根拠となる箇所も見つけやすい。
- 6 [英文完成] (標準) 旧センター試験大問 2C と同形式。一部判断に迷う設問も含まれるが、文法・語法の基本知識で解答できる。

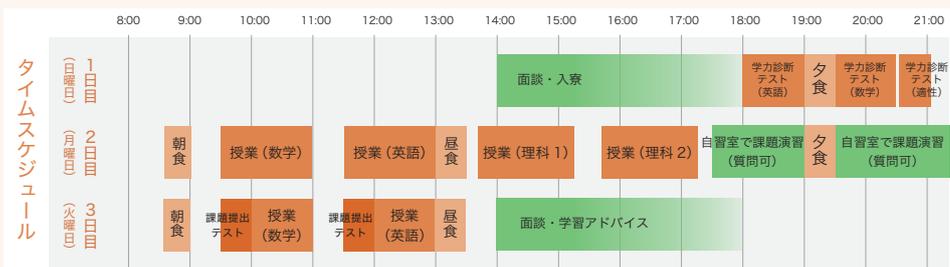
昨年度後期と大問内容・形式は同様だが、大問 5 は分量が増加している。全体に取り組みやすくなっており、高得点も可能である。目標は 75%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 ☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/	 医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校 https://www.mebio-eishinkan.com/	☎03-3370-0410 https://yms.ne.jp/ ☎0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/	 登録はこちらから
--	--	--	--------------

2泊3日無料体験

寮・授業・食堂の体験



好評につき追加募集！

お申込はお電話 HP・QRコードより承ります

無料体験期間

- ⑥ 3/17 (日) ~ 3/19 (火)
- ⑦ 3/24 (日) ~ 3/26 (火)
- ⑧ 3/31 (日) ~ 4/ 2 (火)
- ⑨ 4/ 7 (日) ~ 4/ 9 (火)



詳しくは Web またはお電話で